

『エコリンコ 3』

かんたん取り付けマニュアル

(「かんたん取付パッケージ」をご利用のお客様向け)

1. 設置上の注意事項

※分電盤内の電線にCTを接続する際、感電にご注意ください。メインブレーカを下げてからの作業をおすすめします。

※エコリンコ 3 本体を電源コンセントに挿した後、本体、CT延長ケーブルに引っかからないようご注意ください。もし、引っかかり、不要な力がかかると、本体、コネクタ、ケーブルを損傷する可能性があります。すぐにご使用を中止し、本体を電源コンセントから抜き、CTを外してください。

【取り付けの前提として】

※無線 LAN ルータ経由でインターネット接続できる環境が事前に必要です。また、エコリンコ 3 と無線 LAN ルータとの接続は WPS 機能で接続を確立します。

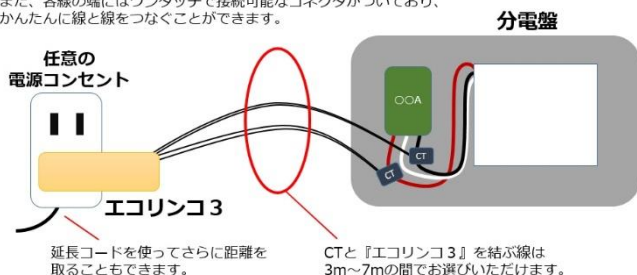
2. 「かんたん取付キット」ご利用の趣旨

- ・分電盤の近く(約 1m 以内)に電源用(AC100V)コンセントがない場合
- ・分電盤の近くに電源用(AC100V)コンセントを増設工事しない/できない場合

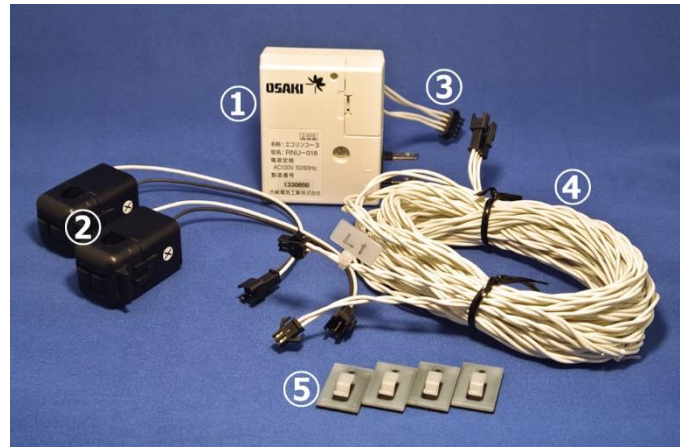
このような場合、分電盤に一番近い既存の電源用(AC100V)コンセントにエコリンコ 3 を設置し、CT 接続用延長ケーブルを利用し接続します。

■『かんたん取付キット』のコンセプト

分電盤に取り付けたCTからの線を長く取ることによって、コンセントの増設工事なしで『エコリンコ3』が設置できるようになります。また、各線の端にはワンタッチで接続可能なコネクタがついており、かんたんに線と線をつなぐことができます。



3. 「かんたん取付パッケージ」同梱物



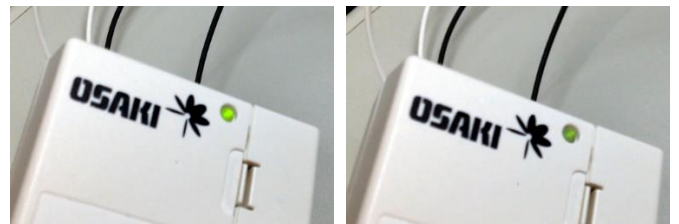
- (1)エコリンコ 3 本体 x 1
- (2)CT x 2
- (3)本体側 4 ピンコネクタケーブル
(本体取付け済み) x 1
- (4)CT延長ケーブル (3~7m) x 1
- (5)コードクリップ (サンプル品) x 4

4. エコリンコ 3 本体を無線 LAN に接続

(1)エコリンコ 3 本体を電源コンセントに挿すと、LED の点滅が始まります。

(2)電源投入後 2 分以内に無線 LAN ルータの WPS 機能を起動してください。無線 LAN 接続が確立するまで約 1 分かかります。

(3)エコリンコ 3 本体の LED の点滅が徐々に少なくなり、点灯状態が継続すれば無線 LAN 接続が確立しています。



(写真) 左が点灯状態。右が消灯状態。

無線 LAN 接続が確立できていない場合、LED が 1 分毎に点滅 (2~5 回) します。この場合は、エコリンコ 3 本体を電源コンセントから抜き、再度(1)からやり直してみてください。

(4)無線 LAN 接続が確立できたら、エコリンコ 3 本体を電源コンセントから抜いておきます。

5. 接続手順

(1) CTの取付け ※感電にご注意ください

分電盤サービスブレーカの2次側のL1相(赤線)、L2相(黒線)、それぞれにCTを取り付ける。CTに記載の電流の流れる向きを合わせ、カチッと音がするまでしっかり閉めます。



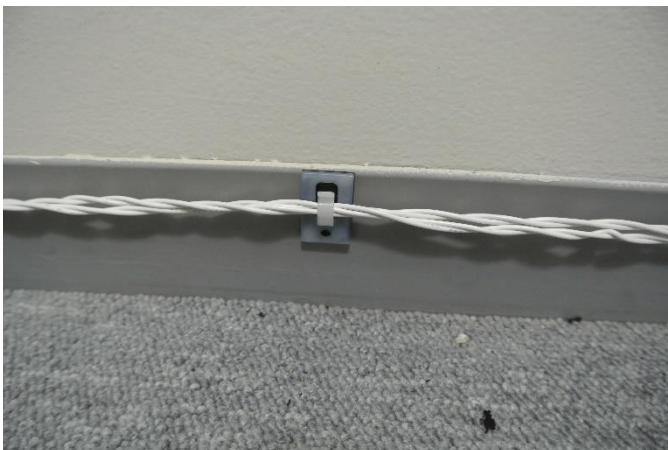
(写真) CTの取り付け例。(単相3線式の分電盤)

【分電盤から線が2本(白と黒)しか出ていない場合】

分電盤に赤線がなく、白と黒の2本しか線がない場合は、L層(黒)にのみ、CTを1つ取り付けてください。(この場合、CTが1つ余ります)

(2) CT延長ケーブルの室内配線

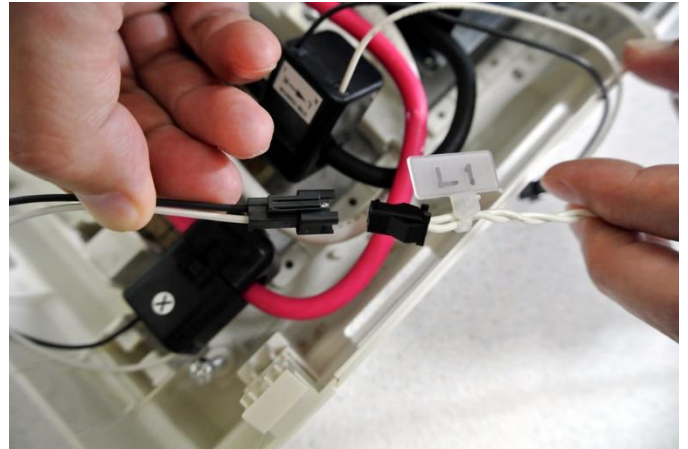
エコリンコ3本体の設置位置から分電盤まで、4ピンコネクタが本体側へ、2ピンコネクタ側が分電盤側へとなるよう、CT延長ケーブルを壁面などに固定します。(サンプル品のコードクリップや市販のモールなどを利用し、ケーブルが絶対に引っ掛かることのないよう、壁面等に固定してください。)



(写真) コードクリップを利用し、壁面にコードを固定。

(3) CTとCT延長ケーブルの接続

分電盤に取り付けたCTと、CT延長ケーブルの2ピンコネクタの接続を行います。

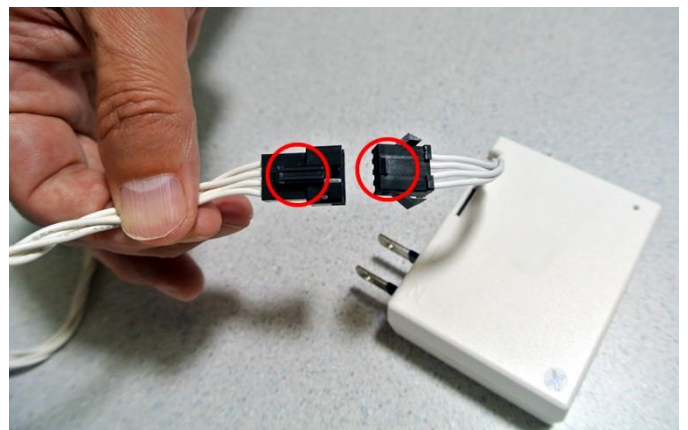


分電盤サービスブレーカの2次側のL1相(赤)線側に取り付けたCTの2ピンコネクタと、CT延長ケーブルの2ピンコネクタ(L1と書かれた札がついている方)とを、上下向きに気を付け、カチッと音がするまで差し込み接続します。

もう一方の2ピンコネクタ同士も接続します。

(4) エコリンコ3本体とCT延長ケーブルの接続

エコリンコ3本体側に接続されている4ピンコネクタとCT延長ケーブルの4ピンコネクタとを、上下の向きに気を付け、カチッと音がするまで差し込み接続します。



(写真) 双方のコネクタからストッパー(赤い丸の中)が出ている方を合わせると、正しく接続できます。

(5) エコリンコ3本体を電源コンセントに挿す

あらかじめ電源の極性(L/N)が区別できる場合は、エコリンコ3本体に表示のL/Nに合わせてコンセントに挿します。

【電源の極性（L/N）を区別できるケース】

- ・コンセント自体にL/Nの表示がある場合
- ・電源コンセントの穴の長さが違う場合
(短い方がL、長い方がN)
- ・お客様が検電テスターをお持ちの場合
(通電を観測できる方がL)



(写真) 電源コンセントの穴の長さが違う場合は、穴の短い側がエコリンク3本体プラグのL側となるように挿します。

極性を判別する手段がない場合は、気にせずコンセントに挿してください。

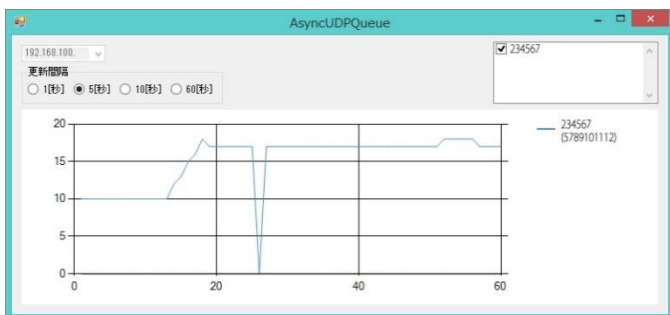
(6) 計測状況の確認

まず、瞬間値測定ツール「AsyncUDPQueue β版(PC)」を

<http://www.aemc-j.com/archives/1587>

上記 URL からダウンロードします。

「AsyncUDPQueue β版(PC)」を利用し、計測ができていないか確認します。電力量がグラフ表示できていれば完了です。



(写真) 正常起動中の画面。折れ線グラフが表示されると共に、画面右上および右エリアに LAN で認識したエコリンク3の機種番号が表示されます。



(写真) グラフ表示がゼロの時の画面。計測ができていない状態です。

【計測ができていない場合の解決策】

ケース1 LNの極性が区別できている場合

グラフ表示が0であれば、分電盤に取り付けたCTとCT延長ケーブルの2ピンコネクタの接続を入れ替えます。それぞれ、CT側の2ピンコネクタのストッパーを押しながら接続を外します。分電盤サービスブレーカの2次側のL2相（黒線）側に取り付けたCTの2ピンコネクタと、CT延長ケーブルの2ピンコネクタ（L1と書かれた札がついている方）とを、上下向きに気を付け、カチッと音がするまで差し込み接続します。もう一方の2ピンコネクタ同士も接続します。瞬間値測定ツール「AsyncUDPQueue β版(PC)」を利用し、計測ができていないか確認します。電力量がグラフ表示できていれば完了です。

ケース2 LNの極性が区別できていない場合

「5. 操作手順」の(5)の項目で極性を判別せずコンセントに挿した場合は、コンセントの向きを逆にして挿し直すことにより、電力の計測が可能になります。

『エコリンコ 3』

かんたん取り付けマニュアル

■初版 2014年6月9日

■制作 エーイーエムシージャパン株式会社

〒277-0882

千葉県柏市柏の葉 5-4-6 東葛テクノプラザ 608号

<http://aemc-j.com>

■ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

②本書の内容に関しては訂正・改善のため、将来予告なしに変更することがあります。

③落丁、乱丁はお取り替えいたします。

Copyright © 2014 AEMC Japan Co.,

Ltd. All rights reserved.